

王子ホール×観世宗家監修

天

I
love
music

鼓

大倉源次郎 能小鼓
武田宗典 能シテ
篠崎まろ 史紀 ヴァイオリンほか

名作能「天鼓」のクライマックス音楽葬の場面が

書き下ろしの創作音楽による、クラシック音楽と能の真のコラボレーションで

言わば音楽舞劇という新しい形に変貌し、新しい「天鼓」に昇華します。

篠崎まろ 史紀のヴァイオリンと大倉源次郎の小鼓、武田宗典の舞、

加藤昌則作曲、田尾下哲演出の異才のタッグが生み出す世界観。

この挑戦は見逃せない、聴き逃せない――

2024年1月25日(木)

19:00開演 (18:15開場)

※出演者によるアフタートークあり

会場：王子ホール

中央区銀座4-7-5

【主催】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕、東京アート&ライブシティ構想実行委員会

お能って素晴らしい、
音楽って素晴らしい。

天鼓

I love music

TOKYO ART & LIVE CITYによる観世宗家と王子ホールのコラボレーション、
「はごろも」「ADACHIGAHARA」に続く第三作「天鼓 I love music」。

能の世界にクラシック音楽を挿入する試みであったこれまでの二作品の創作とは異なり、「天鼓 I love music」は後半を置き換えます！筋書き自体もオペラ的な「天鼓」だからこそできる、お能の世界での音楽の楽しみ方や、東洋的、西洋的ともいえる陰陽の心理描写をご提案します。

当シリーズを牽引してきた、武田宗典、加藤昌則、篠崎“まろ”史紀、のノリノリトリオに加え、物語の軸となる小鼓は人間国宝の大倉源次郎。

作品前半は従来の能形式にて鑑賞いただけます。後半の音楽葬の場面は、今や能とクラシック音楽の仲介者でもある加藤昌則の音楽と武田宗典の舞のみで表現。ヴァイオリンは“まろ”率いる若武者3名による「西洋軸」と、大倉源次郎、武田宗典の「東洋軸」による、心理描写の対比も聴きどころです。

音楽舞劇風



大倉 源次郎
能 小鼓



武田 宗典
能 シテ



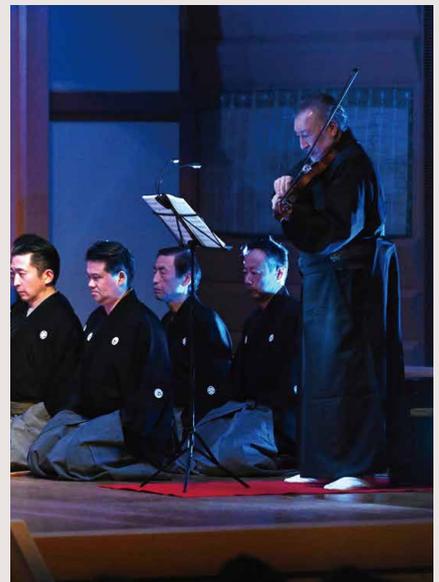
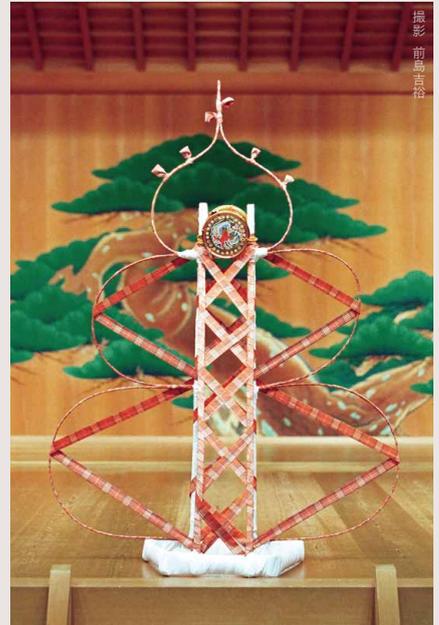
篠崎“まろ”史紀
ヴァイオリン

シテ：武田 宗典 ワキ：大日方 寛 アイ：野村 太郎
地謡：岡久広 浅見 重好 藤波 重彦 角幸二郎 清水 義也 木月 宣行 坂井 音隆 武田 祥照
後見：武田 宗和 山階 彌右衛門
笛：松田 弘之 小鼓：大倉 源次郎 大鼓：大倉 慶乃助
ヴァイオリン：篠崎“まろ”史紀 倉富 亮太 東條 太河 小西 健太郎
作曲：加藤 昌則 演出：田尾下 哲 照明：稲葉 直人 舞台監督：蒲倉 潤
※出演者・演目は予告なく変更となる場合があります。

「天鼓」について

出自自体が不思議な少年天鼓は鼓の名手。その鼓を時の権力者である皇帝によって奪われ殺害されてしまう。その後日談が、能の誇る名作「天鼓」です。

【あらすじ】主である天鼓が亡くなり鼓は鳴らなくなってしまう。皇帝に天鼓の父が呼び出され、息子を思い嘆き悲しみながらも、しぶしぶ鼓を打つと素晴らしい音が鳴った。皆が感動して天鼓を弔おうということになり、かつて天鼓を沈めた呂水のほとりで音楽葬を行っている。天鼓の霊が現れ、「お弔いくださってありがとうございます」と礼を述べ、鼓を打ち鳴らし、舞に興じる。



チケットお申込み | 料金(税込) 全席指定 6,000円 (チケット発売中)
※未就学児のご同伴はご遠慮ください。

王子ホールチケットセンター
03-3567-9990 (平日10:00-18:00)
<https://www.ojihall.jp/ticket/howto.html>



チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:522-411]

e+(イープラス) <https://eplus.jp>

カンフェティ <https://www.confetti-web.com/tenko/>
0120-240-540 (平日10:00-18:00)

■お問合せ：東京アート&ライブシティ事務局(芸団協内) 03-5909-3060(平日12:00-17:00)

【主催】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会【芸団協】
東京アート&ライブシティ構想実行委員会

【助成】文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会 事業名：JAPAN LIVE YELL project
公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

【後援】中央区/中央区教育委員会/一般社団法人中央区観光協会/全銀座会
【監修】一般社団法人観世会、王子ホール

東京アート&ライブシティ
<https://www.artandlive.net>

